

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 28 年 7 月 28 日 (2016.7.28)

【公開番号】特開 2013-249058 (P2013-249058A)
 【公開日】平成 25 年 12 月 12 日 (2013.12.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-067
 【出願番号】特願 2013-113038 (P2013-113038)
 【国際特許分類】

B 6 4 D 45/00 (2006.01)

B 6 4 F 1/00 (2006.01)

G 0 8 G 5/06 (2006.01)

【 F I 】

B 6 4 D 45/00 A

B 6 4 F 1/00 Z

G 0 8 G 5/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 5 月 31 日 (2016.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の信号を生成するように構成された少なくとも 1 つのアクティブセンサまたはパッシブセンサと、

1 またはそれ以上の光と、

生成された第 1 の信号に関する情報をワイヤレスで送信するように構成された通信デバイスと、

を備えた第 1 の光モジュールであって、航空機の第 1 の位置に配置されることを特徴とする第 1 の光モジュールと、

前記第 1 の光モジュールの通信デバイスから送信された情報を受信するように構成された通信デバイスと、

受信した情報に関連する情報を出力するように構成された出力デバイスと、

を備えた少なくとも 1 つのユーザインターフェース (UI) デバイスと、

第 2 の信号を生成するように構成された少なくとも 1 つのアクティブセンサまたはパッシブセンサと、

1 またはそれ以上の光と、

生成された第 2 の信号に関する情報をワイヤレスで送信するように構成された通信デバイス (38) と、

を備えた第 2 の光モジュールと

を有し、

前記第 2 の光モジュールが、航空機の第 2 の位置に配置され、

前記第 1 の光モジュールの通信デバイスが、前記第 2 の光モジュールの通信デバイスから情報をワイヤレスで受信するように構成され、受信された情報を前記少なくとも 1 つの UI デバイスに転送するように構成され、

前記少なくとも 1 つの UI デバイスまたは前記第 1 の光モジュールのうちの少なくとも 1 つが、前記生成された信号に基づいて航空機に対する脅威である障害物の存在を判断す

るように構成されたプロセッサを有することを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記出力デバイス、前記第 1 の光モジュール、又は、前記第 2 の光モジュールが、プロセッサを有することを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

ホスト航空機の第 1 の位置に配置された第 1 の光モジュールで、

1 またはそれ以上の光から視覚的な照明を提供するステップと、

アクティブセンサまたはパッシブセンサの少なくとも 1 つから第 1 の信号を受信するステップと、

前記第 1 の光モジュールの通信デバイスから受信された第 1 の信号に関する情報をワイヤレスで送信するステップと、を有し、

少なくとも 1 つのユーザインターフェース (UI) デバイスで、

前記第 1 の光モジュールの通信デバイスから送信された情報を少なくとも 1 つのユーザインターフェース (UI) デバイスによって受信するステップと、

出力デバイスを介して受信した情報に関する情報を出力するステップと、を有し、

ホスト航空機の第 2 の位置に配置された第 2 の光モジュールで、

1 またはそれ以上の光から視覚的な照明を提供するステップと、

アクティブセンサまたはパッシブセンサの少なくとも 1 つから第 2 の信号を受信するステップと、

前記第 1 の光モジュールの通信デバイスを介して前記第 2 の光モジュールの通信デバイスから少なくとも 1 つの UI デバイスに受信された第 2 の信号に関する情報をワイヤレスで送信するステップと、

を有し、

前記出力された情報が、航空機に対する脅威である障害物の存在を示す、ことを特徴とする方法。